

普通科 人文社会 131班

令和の米騒動の原因と対策

班員 福良 悠斗 松本 なつ
甲斐 健介

指導者 岩室 貴詞 先生
コーチ 水永 正憲 様



研究の動機

近年、令和の米騒動と呼ばれる米不足や価格高騰が社会問題となっている。私たちは、その原因を明らかにし、今後同じ問題が起こらないための対策を考えるため、この研究を行った。

研究目的

令和の米騒動の原因を分析し、今後同様の事態を防ぐために対策を考えること。

先行研究

お米の生産量が減少しているため、価格の高騰が続いている。
卸業者がお米を滞納している可能性がある。

仮説

減反政策による供給量の低下に加え、訪日外国人の増加による需要拡大が重なったことが、令和の米騒動の原因と考える。

研究方法

1. 令和の米騒動について文献や統計資料を用いて調査する。
(生産量、価格、需要、政策など)
2. 農家さんにインタビューを行い、現場の課題や意見を聞く。
3. 調査した情報をもとに米騒動が起きた原因を整理・分析する。
4. 考えた政策をまとめ発表する。



研究結果

令和の米騒動の原因

- ・インバウンド(訪日外国人)需要の増加や消費者が産地を意識しづらい外食や中食(弁当や惣菜)などで国産米から輸入米への切り替えが進んでいるため国産米の需給を見誤った。
- ・精米歩留まりの悪化(夏の猛暑により米粒がもろくなり精米時に割れる)
- ・米の過剰生産を防ぐために生産を抑えた政策の減反政策の長期化によって食用米の供給量が減少した。
- ・卸業者による米の滞納や買い控えは令和の米騒動の直接的な原因ではないが、供給不足の現状で米価の上昇をさらに強めた原因の1つと考えられる。

考察

- ・備蓄米の放出が早かったため、国民が不安になり米騒動がより深刻になったと考えられる。
- ・今後日本は、米騒動などの緊急時に対応できるように国際競争力を高め輸出を拡大していく必要がある。
- ・気候変動で農産物の収穫量に大きな変動起きているため国が品種改良を後押しする必要がある。
- ・令和の米騒動は、その年に起きた出来事だけが原因ではない。例えば、天候不順による収穫量の低下がきっかけとなったが背景には減反政策の長期化など、以前から続いてきた生産体制の問題があり、それらが積み重なって問題として現れた。
- ・本研究では、外国人需要だけでなく、政策や流通の問題など複数の要因が重なっていることが分かり、当初の仮説は一部のみ支持された。

参考文献

<https://www.maff.go.jp/j/tokei/index.html>

農林水産省ホームページ統計情報9(2025年5・6月)

謝辞

私たちの研究に関わってくださった先生方、コーチの皆様、インタビューに協力してくださった牧野哲郎様 水永正憲様本当にありがとうございました。